

平成26年度 伏見区民活動支援事業補助金
交 付 申 請 書

平成26年 ○月○日

伏見区長

様

（団 体 名）伏見まち歩きの会
（代表役職名）会長
（氏 名）伏見 花子



平成26年度 伏見区民活動支援事業補助金について、次のとおり申請します。

1 区 分	☐ 一般枠 ☒ 小規模枠	
2 申 請 額	100,000 円（収支予算書の「市町村補助金」の額）	
3 事業名 事業完了時期	地域の魅力をめぐるウォーキング 平成27年 3月	
4 関係書類	☐ 事業計画書（第2号様式） ☐ 収支予算書（第3号様式） ☐ 労力換算額算定書（第4号様式）	
5 添付書類	☐ 定款・会則等 ☐ 役員名簿 ☐ 団体の概要、パンフレット等 ☐ その他（これまでの活動の写真）	

<団体の概要>

設立時期	平成25年 5月	構成人数	8人
これまでの活動内容 （補助金の実績等、別紙の添付でも可）	・設立以降、定期的に企画会議を開催 ・平成25年11月 まち歩きイベントを開催（20名参加）		
連絡先	団 体	所在地 (〒612-8511) 京都市伏見区鷹匠町39-2	
		電 話	075-611-1295
		FAX	075-611-4716
		Mail	fushimi-keiji@city.kyoto.jp
担当者 ※	団 体	WEB サイト（ホームページ） ※開設している場合は記入してください	
		http://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi	
	氏 名	フリガナ キョウト イチロウ 京都 一郎	
	電 話	075-611-1295 FAX 075-611-4716 Mail fushimi@city.kyoto.jp	

※ 代表者、団体の所在地以外に連絡・対応いただける担当の方がおられる場合は、連絡に必要な項目を御記入ください。

事業計画書

団 体 名	伏見まち歩きの会	
区 分	☐ 一般枠 ☒ 小規模枠 (該当欄をチェック又は■)	
事 業 名	地域の魅力をめぐるウォーキング	
事業実施地域	京都市伏見区〇〇地域 ※伏見区内に限る	
取 組 目 標 (主に該当するものを○で囲んでください。)	1 循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魁をめざします ② 自然と歴史がいきづく地域の魅力を学び、発信します 3 伏見力を活かし、「新しい京都」のまちづくりを牽引します 4 地域のコミュニティが人を育み、すこやかな暮らしを支えるまちをめざします 5 安心安全で、人にやさしい便利なまちをめざします	
地域課題・事業の目的	現在、〇〇地域においては、・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ということが地域の課題である。 そこで、これらの課題を踏まえて、・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・〇〇地域への理解を深めることを目的とする。	
事業内容	・ウォーキングイベントの開催(11月) 参加 定員30名(事前申し込み、参加費100円) 場所 〇〇地域ほか 対象 伏見区内にお住いの方 内容 講師 〇〇氏が地域の魅力を案内しながらのまち歩き ・報告会の開催、ウォーキングマップの作成、発行(3月) 内容 「〇〇地域まちあるきマップ」(仮称)として発行し、地域の魅力を発信する 数量 300部 方法 報告会で配布するとともに、区役所・支所で配架、当団体ホームページに掲載	
前年度の課題 (昨年度に当補助金を活用している場合のみ記入)		
課題解決に向けた工夫等		
スケジュール	時 期	実 施 内 容
	4月	講師との打ち合わせ、コース選定
	5月	コースの下見、マップの原稿作成
	9月	広報活動・講師との最終調整
	11月	ウォーキングイベント開催
	3月	ウォーキングマップの発行
補助金の活用による事業の効果	地域や住民にもたらされると予測される効果(※数値目標があれば記入してください。) ・〇〇地域の魅力を知ることにより、〇〇地域をもっと大切にしようという気運が高まる。 ・ウォーキングマップを広く配布することで、〇〇地域全体への注目度が高まる。	

※ 京都府地域力再生プロジェクト支援事業との併用の場合は、同事業の様式(事業計画書 別紙1-1)の写し添付でも可

記入例(小規模枠)

収 支 予 算 書

事業名 地域の魅力をめぐるウォーキング

1 収入内訳

項 目	内 訳 (名称、積算単価、数量等を具体的に御記入ください。)	金 額 (円)	備 考
地域力再生交付金			
市町村補助金	伏見区民活動支援事業補助金	100,000	
民間助成金			
事業収入	参加費 (@100円×30名)	3,000	収入が超過となる場合は、必要事業経費(B)と収入合計(A)が同額になるまで区の補助金を減額
自己負担			
収 入 合 計		103,000	(A)

2 支出内訳

項 目	内 訳 (名称、積算単価、数量等を具体的に御記入ください。)	金 額 (円)	備 考
講師等謝礼	講師への謝礼 (@10,000円×1名×2回) 講師の交通費 (@500円×1名×2回)	20,000 1,000	公共交通機関
旅費	講師との打ち合わせ (@500円×2回×2名)	2,000	公共交通機関
印刷費	チラシ (@10円×500部×2回) 資料 (@100円×30部×2回) まち歩きマップ (@100円×300枚)	10,000 6,000 30,000	1部5ページ予定 A3カラー両面印刷 デザイン料含む
消耗品購入費	マーカー (@100円×10本) 模造紙 (@50円×20枚)	1,000 1,000	報告会で使用 報告会で使用
郵送料	チラシ、マップ配送 (@200円×30部×2回)	12,000	チラシ配架依頼用
使用料	〇〇会館会議室使用料 (@1000円×6回) 〇〇ホール使用料 (@10,000円×1回) マイク設備使用料 (@2,000円×1回)	6,000 10,000 2,000	打ち合わせ 報告会
保険料	イベント保険 (@2,000円×1回)	2,000	
(計算方法) 必要事業経費(B) 103,000円 小規模枠 103,000円×3/4=77,250円⇒77,000円(千円未満切捨て) 77,000円+労力換算(C) 23,000円=100,000円(補助金上限) 自己負担等 103,000円-100,000円=3,000円			
必要事業経費 小計		103,000	(B)

(補助金申請額の計算欄) ※一般枠・小規模枠の該当する方の欄を記入

	必要事業経費小計(B)	補助率	労力換算額の合計(C)	補助金申請額(千円未満切捨て)
一般枠		1/2		収入内訳の「市町村補助金」欄に記入
小規模枠	103,000	3/4	25,000	100,000 ※上限10万円

※ 京都府地域力再生プロジェクト支援事業との併用の場合は、同事業の様式(収支予算書 別紙1-3)の写しの添付でも可

※ 支出内訳には、補助対象外となる経費(団体運営に要する経費・団体の人件費等)は記入しないでください

労力換算額算定書

記入例（小規模枠）

団体名 伏見まち歩きの会

事業名 地域の魅力をめぐるウォーキング

申請団体等の構成員により無償で提供される労力内容及び実施時期	金 額	内 訳 (500円×ボランティアスタッフの人数×時間数)
① 平成26年9月 広報活動（チラシ配り）	11,000 円	500 円×11 名×2 時間
② 平成26年11月 ウォーキングイベント	12,000 円	500 円×8 名×3 時間
③		
労力換算額の合計	23,000 円	(C)

*小規模枠のみが対象です。

*採択事業におけるすべてのボランティア活動の記入を求めているものではありません。
労力換算額の上限分の記入で結構です。

(労力換算額の上限)	
① 必要事業経費(B) が10万円以上・・・10万円	－ 千円未満切捨て 必要事業経費(B)×3/4
② 必要事業経費(B) が10万円未満・・・必要事業経費(B)	－ 必要事業経費(B)×3/4

*補助金申請額（必要事業経費(B)×3/4）が上限の10万円に達する場合は、労力換算による補助金の加算ができないため、当様式の提出は不要です。

*記入欄が不足する場合には、別紙に記入して添付してください。